

平成31年度 第1回理事会 議事録

平成31年4月20日(土)～21日(日)

石川県志賀町 ロイヤルホテル能登 会議室

○出席者

濱崎 部長、早川 副部長、中梶 理事長、河田 常任理事、高畑 常任理事、田中 常任理事、
大野 常任理事、平葎 理事、島田 理事、堤谷 理事、塚崎 理事、守屋 理事、
(阿部 事務局長)

理事出席が2／3以上により会成立定数を満たし、理事会が成立

濱崎部長より挨拶

鳥取湖陵のご紹介、自転車競技の鳥取県の状況、選抜の御礼
南九州・沖縄での総体成功、今回の会議開催地の北陸・石川での総体成功、生徒が活躍できる
環境の構築に尽力願いたい。

1. 協議事項

(1) 2019～2020年度専門部役員について

理事15名

事務局1名

監事2名

総務7名

競技運営7名

強化育成8名

広報2名

○事務局より提案

「強化育成部会の会議の在り方について」

合宿等で強化育成メンバーが集合することを前提に、諸会議については参加者人員を精査し
ていただき予算圧縮に協力願いたい。 → 承認

(2) 2019年度全国高等学校体育連盟自転車競技専門部登録・徴収金について

- ・第114回委員長会議で指摘があった本年度からの徴収金増額分（登録選手一人当たり根拠算出額）は予算項目の別建てとする。
- ・競技者ライセンスが年度当初登録から年初切り替えになった過渡期で1年生の登録についてライセンス番号なしでデジタルを受け付け、あるいは1年生を二次登録へ回していたが、1次登録で1年生も登録する方向でお願いしたい。

→承認

(3) 2019年度全国高等学校体育連盟自転車競技専門部予算・事業計画について

○決算報告

- ・専門委員長会議以降の選抜、70周年関係への予算執行。70周年が記念誌の関係で年度をまたいだ会計となる。

→承認

○事業報告

- ・選抜大会まで含めた事業報告

→承認

○予算

- ・専門委員長会議で決定したように徴収金増額分を別建て、総体開催関係費用としての支出を認める。また、総体実施に向けた自己資金として繰り越していく。

●意見・協議

- ・日韓が韓国で行われる。スタッフも学連と合同であった時より増えている。もう少し予算案より増額できないか。

→強化育成部会の会議の在り方を見直していただき、そちらの費用を回すことができると思う。予算案120万より150万円に増額する

- ・坂井田顧問のご厚意により使わせていただいていたiPadのリースが切れる。専門部予算で購入できないか。

→10台を購入となると予算的に厳しい。個人持ちの端末を借り上げるなど対応できないか。

- ・高体連外部の方、プライバシー等もある。何台かは用意しておいたほうが良いのではないか。

→3台程度、MVNO SIMで運用する予算を確保する。

→承認

○事業計画

- ・ 専門委員長会議での案からブロック大会等の日程変更、責任者変更あり。
- ・ 全国合宿（ブロック合宿からの直結事業ではなく、総体、国体、JOC等により選出）を開催する。ブロック合宿はブロックの競技力向上に寄与する。
- ・ 高体連女子合宿（JKA主催、専門部共催）
- ・ 2019年度選抜大会についてこののち審議する。
- ・ 第116回委員長会議について東京の大学入試、インバウンドにより宿代が高騰しているので会議日程を一週例年より遅らせることを第114回委員長会議で決定したが、開催地、開催時期を再検討しては。日程をこれまでと同じにして、大阪、名古屋等交通の便が良いところに会場をかえる。

→第115回委員長会議までの検討事項とする。

→以上、承認

(4) 平成30年度全国高等学校選抜自転車競技会について

○総務部会より

- ・ 選抜事故トラック13件（鎖骨・頬骨骨折 計2件）ロード19件
- ・ 参加申し込みの記載ミスが多い。改善の必要あり。
- ・ タイム種目の参加制限の検討が今後必要。
- ・ 総合表彰について欠席がみられた表彰への出席をお願いしたい。参加者の責務。
- ・ 表彰式の簡素化（並び方の変更）が時間短縮に効果的だった。

●意見・協議

- ・ トラックの落車について、照明のまばら（照明があるところ、外から光が差し込むところ）で視野に影響を与えているのではないか。

→予算等もあるがメディアドームを今後利用する場合は検証する必要がある。

→承認

(5) 2019年度全国高等学校総合体育大会自転車競技（沖縄）について

- ・ 日程等の再確認
- ・ 番組編成会議参加者を理事長、事務局長、総務部会長代理、競技運営部会員とする。
- ・ 競技対策会議（メンバー明記）の追加と解散式について
- ・ 沖縄総体テクニカルガイド（検討中）
- ・ 悪天候での途中競技中止の場合の学校対抗得点配分について、予選を実施し、決勝への勝ち上がりか決定している時点での中止について総務部会で検討する。
- ・ ロード実施しない場合についても閉会式実施
- ・ 特別表彰検討中
- ・ 補給員の人数と輸送について何らかの制限を考えないと難しい。

- ・最終閉門後の最終競技者の扱いについて検討が必要

→継続検討

(6) 2020年度全国高等学校総合体育大会自転車競技（石川）について

- ・実行委員会を立ち上げた。高体連を中心としたメンバー構成。（中梶、河田、高畑、守屋、阿部がメンバーに入っている。）
- ・実行委員会の旅費などについて意見交換

(7) 2019年度以降の全国高等学校選抜大会について

- ・公募をおこなう。
- ・公募が不調の場合、トラックを北九州（福岡県）、ロードを水上村（熊本県）でお願いできないか調整する。

●意見・協議

- ・トラック、ロードの移動が困難ではないか。

→移動時間は伸びるが昨年度よりロードの宿を会場近くに確保できる予定で当日は動きやすい。

- ・移動日や競技日程の調整により移動時間の確保を検討しなければならないのではないか。

→現在、女子種目出場者の種目被りなどで競技順番の変更などで時間を確保するのが難しい。

- ・女子種目について男子同様に1人1種目にするなど検討が必要。また、選抜の参加人数、特別枠、枠の配分についても同様ではないか。

→検討課題とする。

→承認

(8) 各専門部会より（総務・競技運営・強化育成・広報）

「総務部会」

○協賛規定について

- ・契約書の内容を検討、高体連顧問弁護士への相談確認

○ケイリン離脱の特別規則について確認

- ・従来のケイリンで行っていた離脱距離で総体を行う確認。

○ジャージ登録時期について

・選抜の受付締め切り変更の関係があり要変更案件。総体、選抜大会開会式の2週間前を区切りとする。

○1kmTT、3kmIPの参加数枠の必要性

- ・今後検討

→承認

「競技運営」

○JCF 規則改正

- ・大きな改正ない模様

○特別規則について

- ・ケイリン離脱に関する特別規則 JCF に認められている。
- ・あくまでも、総周回数は変更ない。あくまでも、離脱位置の特別規則

○競技の進行状況確認について

- ・競技審議、中断時における状況を外部、役員へ視覚的に伝達できる装置作成中。

→承認

「強化育成」

○ホープフルクリテイルム

- ・強化育成部会で選出。総体の学校総合順位上位校優先。

○日韓高校対抗について

- ・大会へ向けた選手選考後、合宿（全国合宿をこれにあてる）をおこなう。

(9) その他

○賛助会費（事務局）

- ・昨年度、47都道府県すべてにご協力いただいた。本年度も同様におねがいします。

○JKA 公益補助事業への採用決定（事務局）

- ・採用説明会に理事長、事務局長参加。今後の手続きについて。

○JCF 関係（理事長）

- ・専門部選出の評議員交代について。事務局が参加し動きを明確に知ったほうが良い。

→承認